

**令和4年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和4年12月
海老名市立杉久保小学校**

令和4年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語, 算数・数学及び理科)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

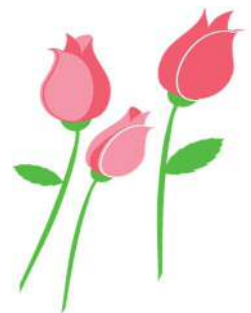
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和4年4月19日(火)

※児童生徒質問紙調査について、一部の学校で、端末を活用したオンラインによる回答方式で実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し言葉と書き言葉との違いを理解することができるかどうかをみる。
- ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えることができるかどうかをみる。
- ・必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉えることができるかどうかをみる。
- ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・人物像や物語の全体像を具体的に想像することができるかどうかをみる。
- ・表現の効果を考えることができるかどうかをみる。
- ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるかどうかをみる。
- ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるかどうかをみる。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。
- ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的でできている点

- 話し言葉と書き言葉との違いを理解することが、比較的でできています。
- 必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉えることが比較的でできています。

◆課題のある点

- 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることに課題が見られます。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を、文の中で正しく使うことに課題が見られます。
- 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることに課題が見られます。
- 登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることに課題が見られます。
- 人物像や物語の全体像を、具体的に想像することに課題が見られます。
- 表現の効果を考えることに課題が見られます。
- 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることに課題が見られます。
- 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることに課題が見られます。
- 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことに課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 主人公の心情、行動の変化を叙述から読み取る活動を取り入れます。また、どうして変化が見られたのか、出来事を叙述から読み取らせませす。
- 文章を書く際には、お手本を表し、視写や直写をすることで、どのような文書を書けばよいのかイメージさせます。その上で、紹介文なら、小見出しごとに確認しながら支援をしていきます。
- 文章を見合う際には、推敲シート(見るポイント)を明確にすることに取り組んでいきます。
- 授業の中でルーティンとして、スピーチや音読、暗唱など声を出す活動を取り入れていきます。
- 授業の中でルーティンとして、近くの人と相談や確認をする活動を取り入れていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・二つの数の最小公倍数を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できるかどうかをみる。
- ・示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できるかどうかをみる。
- ・百分率で表された割合を分数で表し、基準量から、比較量を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる。
- ・二つの数量が比例関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができるかどうかをみる。
- ・分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できるかどうかをみる。
- ・目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・加法と乗法の混合した数の求め方を解釈し、他の場合の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できるかどうかをみる。
- ・長方形・ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解しているかどうかをみる。
- ・作図手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 計算式の答えを求めたり、最小公倍数を求めたりする等、短答式の問題は、正答率が高いです。
- 買い物の場面を想定した問題で、数量の関係に着目して、数の処理の仕方を考えることができていました。
- 整理分類されたデータや円グラフから、目的に応じて、情報をとらえることができていました。

◆課題のある点

- 理由を説明したり、誤りを指摘して正しい表現に直したりする等、記述式の問題に課題が見られました。
- 図形を作成するプログラムに関する問題において、図形の性質や構成と、プログラムの内容を結びつけることに、課題が見られました。
- 問題場面の数量の関係に着目し、基準量、比較量、割合の関係や、伴って変わる二つの数量の関係について考察することに、課題が見られました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 問題場面を正しく把握するための文章理解力と、自分の考えを筋道立てて説明できる表現力を身につけることができるような指導を継続していきます。
- 図形の学習において、図形を構成する要素(辺の数や長さ、角の大きさ等)に着目し、多様な作図の仕方を考える場面を意図的に取り入れていきます。
- 日常の具体的な場面に対応させながら、割合について理解したり、字や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりすることができるよう、学習課題を工夫していきます。

小学校 理科

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・昆虫の体のつくりを理解しているかどうかをみる。
- ・提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・メスシリンダーという器具を理解し、正しい扱い方を身に付けているかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・日光は直進することを理解しているかどうかをみる。
- ・実験の過程や得られた結果を適切に記録しているかどうかをみる。
- ・実験や観察で得た結果を解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解しているかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができている。
- メスシリンダーという器具の名称を、正しく覚えています。
- 実験や観察で得た結果を解釈し、自分の考えをもつことができている。

◆課題のある点

- 実験の過程や得られた結果を適切に記録しているかどうかについて、課題が見られました。
- 実験や観察で得た結果を解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題が見られました。
- メスシリンダーという器具の正しい扱い方を身に付けることに、課題が見られました。
- 結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことに課題が見られました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 実験を行う際には、実験の目的を明確にし、何を調べるために実験をしているのかを児童にしっかりと意識、理解させます。また、実験結果の予想について理由を含めて、考えられるようにしていきます。
- 実験を行った際は、結果と考察を意識的に区別させ、記録させます。結果は、実験結果をそのまま書き、考察は、実験の目的に即した自分の考えをもち、書いてまとめる習慣をつけていきます。
- 実験や観察など、実物を活用した学習活動を心掛けます。また、その際は、多くの児童が手に取って活動することができるように、工夫していきます。
- 理科に限らず、問題を解く際には、文章をよく読んで解答するように支援していきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 国語の学習が好きな児童が55.9%と神奈川県、全国平均を下回りましたが、国語の勉強が大切だと思っていると回答した児童が87.2%と県と全国の平均に迫る回答数でした。苦手意識があるものの、国語の授業が大切だと感じている子が多くいることが分かりました。また、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という設問に、82.3%の児童が肯定的な回答をしています。子ども達は、国語の授業の必要性も感じていることが分かりました。
- 「理科の勉強は好きですか」という設問に対して、82.4%の児童が好きであると回答しています。これは、神奈川県や全国平均(79.7%)を2.7%上回りました。「理科の授業の内容はよくわかりますか」という設問で83.3%の児童が分かるかと答えています。これは、県や全国平均に迫る数値でした。このことから、苦手意識のない授業に対しては、内容の理解に繋がる傾向があることが分かりました。

◆本校の課題と思われるところ

- 国語や算数の学習意欲等についての設問に対し、肯定的な回答が県や全国平均を下回りました。苦手意識が学力の定着に繋がっていることが分かり、学習意欲を高める必要があると感じました。
- 理科では、好きという回答が県や全国の平均を上回りましたが、国語、算数は下回りました。内容の定着を図るには、少しでもわかる授業を展開し、好きという意欲へ近づける必要があります。

生活について

◆本校のよかったところ

- 学校生活の中で、「友達と協力するのは楽しいと思いますか」という設問に96.1%の児童が当てはまると答えていました。これは、神奈川県や全国の平均を上回る結果となりました。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という設問では、96.1%の児童が当てはまると答えていました。これも神奈川県や全国の平均を上回る結果となりました。
- 上記のことから友達と協力し、友達の為に役に立ちたいと思って生活している子が多くいることが分かりました。
- 「読書は好きですか」という設問では、42.2%の児童が当てはまると答えていました。これは、神奈川県や全国の平均を上回る結果となり、本校の朝読書の成果であると考えられます。

◆本校の課題と思われるところ

- 「自分には、良いところがあると思いますか」という設問で、全国の平均を大きく下回り、自己肯定感が低いことが分かりました。今後は、多くの成功体験を積み重ねていくことが大切だと考えます。
- 「普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームの時間を除く)」という設問に、4時間以上と答えた児童が21.6%いました。これは、県や全国の平均の約2倍にあたる結果となりました。

今後の具体的な取組について

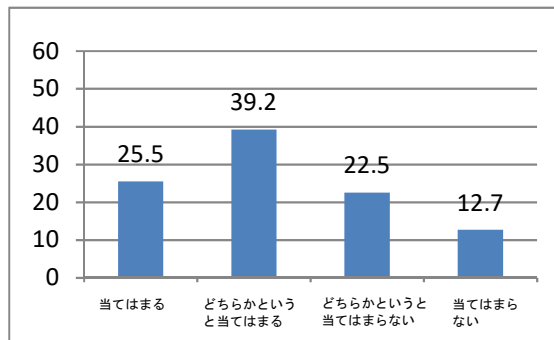
- 学習に対する意欲の低下が、学習内容の理解・定着に影響していると考え、「分かる」=「楽しい」と意欲の向上へ繋がる為、日々の授業が充実していくようにします。
- 家庭での携帯電話の使用について見直し、家庭での学習の時間を確保することが課題です。
- 人の役に立つような活動(係活動や委員会活動など)を通して、成功体験を積み重ね、自己肯定感を高めていくようにします。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 お子さんのよいところを 見つけて伝えましょう。

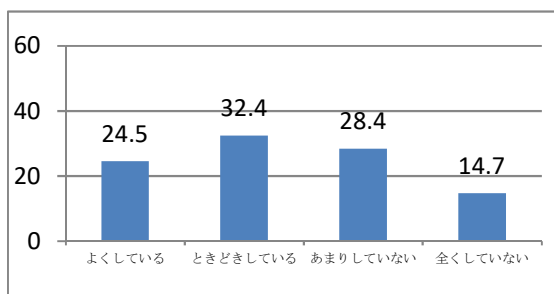
自分が褒められたり、認められたりすることで、自己肯定感が高まります。自己肯定感が高まることで、チャレンジ精神や自主性が育ちます。これからの時代をたくましく生きていく力を育てるために、引き続き子どものよいところを認め、伝えてください。



自分には、よいところがあると思いますか

2 学習の計画を立てて、 勉強しましょう。

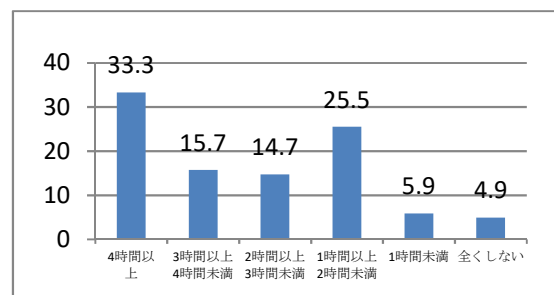
10分×学年（6年生は60分）を目安として計画し、毎日継続して家庭学習に取り組みましょう。平日の放課後や土日にも、自分で課題を見つけて学習したり、予習や復習をしたりすると、基礎学力の定着につながります。



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

3 ゲームの時間を減らしましょう。

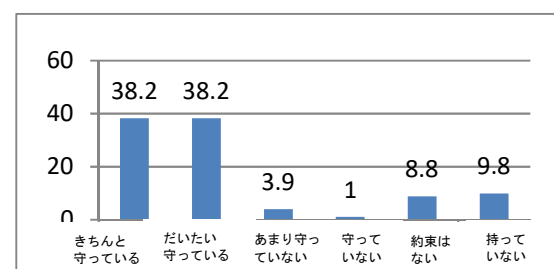
ゲームを長時間続けると、視力の低下につながります。また、外で遊ぶ時間が減り、体を動かす機会が減ると、体力の低下にもつながります。ご家庭で、ゲームをやる時間やルールについて、話し合ってみてください。



1日当たり、どれくらいの時間、テレビゲームをしますか
(コンピュータやスマートフォン、携帯式のゲーム含む)

4 ICT機器やインターネットを利用するときには、 ルールやマナーを守りましょう。

タブレットやスマートフォン、SNSが子どもたちにも急速に普及しています。それに伴い、友だち同士のトラブルや犯罪被害等も生じている状況の中、子どもたちが情報モラルを身につけることが一層重要になっています。ご家庭でもインターネットやタブレット等の使い方について、話し合ってみてください。



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係